

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
特集：農業系・畜産系・獣医系図書館の魅力

## 北の大地のユートピア ～連携からみる畜大図書館～

佐藤 亜紀

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

### 1. はじめに

帯広畜産大学（以下、畜大。帯畜大と略されることが多いが地元では畜大で通っている）は、帯広駅から南へ6km、車で20分、十勝平野の真ん中に位置している。学部は畜産学部のみで、獣医師を養成する共同獣医学課程と畜産、農業や環境、野生生物など幅広い分野を扱う畜産科学課程がある全国唯一の国立農学系単科大学である。最近では、碧雲蔵という酒蔵が構内に完成し、日本初、酒蔵がある大学として全国ニュースになった<sup>1)</sup>。

さて図書館の方はというと、全国ニュースにこそなっていないが、昨年7月にリニューアルオープンしたばかりのピカピカの図書館である。2階にあった図書館の入口を1階に移すなど学生目線での動線見直し、積層書庫部分の開架と集密自動書架への改装、ラーニングcommonsの設置と、時代にあった図書館として生まれ変わった。ほかにも内装や書架の割板の色、ところどころにはめ込まれた十勝の自然や農業を切り取った写真パネルなど、緑に抱かれたキャンパスにふさわしい図

書館となっている。

新図書館は実際に見に来ていただくとし、今回は連携を軸に畜大図書館をご紹介します。

### 2. 全学農畜産実習（大学内の連携）

まず一つ目の連携は、大学内での連携ということで全学農畜産実習でのレポート書き方講座について。

全学農畜産実習とは、1年生の前期必修科目である。実際に農畜産業を体験することで導入教育として農畜産に対する興味をもってもらうことを目的としている<sup>2)</sup>。その年によって若干の違いはあるものの、ジャガイモ栽培&収穫、羊の毛刈り、豚の肥育&ソーセージ作り、搾乳&アイスクリーム作り、馬の管理&乗馬などの実習中心の科目である。図書館では情報処理センターとともに大学に入っただけの新入生に、情報リテラシーや大学内でのパソコン・プリンターの使用方法、メールの書き方、レポートの書き方を担当している。

図書館によるレポートの書き方講座は60分（今年はオンラインのため30分）で、作文とレポートの違い、CiNii & Google Scholarを使った文献検索実習、引用の仕方など、今後学生が多く直面するレポート課題への取り組み方についてパソコン操作をしながら行う。授業の終わりにレポート作成を課しており、学習したことをすぐに実践してもらう内容となっている。

レポートの課題設定や学生に学んでほしい内容について教員と相談し授業を組み立てている。例えば、昨年度は統計を調べてレポートを書く課題だったが、統計数値のみ提出した学生がいたそうで、数値を調べてそこから自分で書きたいテーマを設定し、レポートを作成するよう説明を加えた。文献検索ツールのGoogle Scholarも教員からの要望で取り入れた。

アンケートから「レポートの書き方がわからず困っていた」「本の探し方がわかって良かった」という感想も寄せられ、少しでもお役に立てたのではと考えている。

### 3. 学生との連携

#### 3.1. 図書館サポーター

次に学生との連携を取り上げる。

畜大図書館にも図書館サポーター制度がある。活動内容は、学生図書購入ツアー&図書展示、オープンキャンパス図書館ツアーガイド、読書会、おススメ本の紹介（Twitter）などである。今年は新型コロナウイルスの影響で、例年新入生ガイダンスで行っていた新規メンバー募集ができず未だ活動を開始していないが、活動再開後は新図書館を舞台に色々な企画に挑戦してみたい。

#### 3.2. サークルの企画展示

もう一方の連携は、図書館内での図書展示を学生サークル、団体が企画するもので、昨年4団体が展示を行った。

初めに展示をしてくれたのは、「ゼニガタアザラシ研究グループ（通称・ゼニ研）」。「ゼニガタアザラシや海の生き物の関連図書のほか、アザラシの毛皮や頭蓋骨も一緒に展示してくれた。次は、畜大で365日朝晩搾乳をしている「うしぶ。」（牛乳は畜大牛乳として市販されている）、牛や牛乳、牛と人との関わりについての図書を展示。そして、講義棟の屋上で養蜂をしている「ミツバチサークルBEEHAVE」、また畜大生をはじめとした道内の留学経験者によるトビタテ！留学JAPAN展示も行われた。

このように学生による展示が続いたきっかけの一つは、他の学生団体の展示を見て自分たちもという、学生の活動がまたほかの学生の刺激になり良い連鎖が生まれたことである。

### 4. 大学外の連携

#### 4.1. 帯広市図書館市民文庫

畜大図書館には「帯広市図書館市民文庫」と称し、市図書館の蔵書を常時約200冊配置している。畜大図書館の資料に加えて借りることができる。文庫のジャンルは、小説、料理、絵本、コミック、写真集など畜大図書館の蔵書には少ない分野が主であるため、需要が少なからずある。学外利用者をはじめ、学生や教職員にも利用されている。文庫は2か月に1度、市図書館へお邪魔して蔵書の入れ替えを行っている。

#### 4.2. 夏休み&冬休みの連携事業

また連携事業の一つとして、小学生を対象とした情報検索ガイダンスを行っている。夏休み、冬休み期間に開催ということもあり自由研究応援として一役買っている。

夏は動物園を会場に、調べ学習や動物観察、飼育員さんへのインタビューを行い、冬は畜大教員による講話と関連した調べ学習を市図書館で行っている（内容や開催方法は若干の変更あり）。毎年人気の企画で自由研究用途だけでなく、動植物に興味のある親子がリピーター参加している。今夏は残念ながら新型コロナウイルスの影響により夏休みが短縮となり行うことができないが、秋や冬の開催を模索中である。ちなみに、昨年夏のテーマは「動物園で体験しよう！ホッキョクグマ・ゾウ・エゾシカ」、冬は「冬芽探検隊！」であった。

### 5. おわりに

以上、日本の食料基地北海道は十勝にある畜大図書館について連携をキーワードにご紹介した。本稿では触れなかったが、蔵書は動植物や食物、農業に関連したものが多く、日本古典馬術の貴重古書『大坪本流』も所蔵している。

畜大には、馬、牛、豚、エゾリス、エゾモ

モンガなどが住んでおり、乗馬体験や搾乳体験、小動物の観察会、ジンギスカン会議などのイベントもある<sup>iii</sup>。

最後に大学連携ということで、昨年、北海道大学獣医学部とともに欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）による認証を取得した。そちらは、北大の東さんご紹介されているのでご参照を。

今はまだ往来は難しいが、ぜひ一度お越しいただき「おいしい！たのしい！畜大」を体験いただければと思う。

- 
- i 帯広畜産大学. “帯広畜産大学構内に酒蔵が完成, 教育研究の活性化へ” 帯広畜産大学ウェブサイト  
<https://www.obihiro.ac.jp/news/30569>,  
(参照 2020 6 25).
  - ii 小池正徳ほか. 帯広畜産大学における全学農畜産実習. 環境教育研究. 2006, vol. 9 no. 2, p. 73-77.  
[http://id.nii.ac.jp/1588/00\\_0435/](http://id.nii.ac.jp/1588/00_0435/), (参照 2020 6 25).
  - iii 今年度はコロナウイルスの影響でほとんど全てのイベントが中止.

(さとう あき／帯広畜産大学附属図書館)  
sato-ak@obihiro.ac.jp